

シリーズひと

全国優勝に導いた燕のエース

吉田中学校野球部の主将としてチームを牽引し、新潟県中学校体育連盟(中体連)の県大会で優勝。その後、新潟県選抜のエースとして全国初優勝とMVPに輝いた浅井隼さん。全国の舞台で存在感を示した浅井さんに、野球への思いと今後の決意を伺いました。

野球部での3年間を浅井さんは充実した時間だったと、振り返ります。2年生の冬を越えた頃からチームとしての力が一気に高まり、今年度の中体連の県大会では優勝を果たしました。その結果の裏で、3年生の春にチーム事情により本職のキャッチャーからピッチャーへ転向することになった浅井さん。当時の心境をこう語ります。

「大会にはキャッチャーで出たかったのですが、チーム事情だからやるしかないと思いました」

短期間で投手としての力を磨き、最速134キロの速球を武器にチームを支えました。